



大雨・台風対策は万全ですか？

大雨や強風などによる災害から身を守り、災害による被害を最小限に食い止めるには、日ごろから準備をしておくことが大切です。

最新の気象情報に注意を払う習慣を身につけるとともに、家庭や地域で非常時の避難場所や非常持ち出し品を確認して災害に備えましょう。また、不安や危険を感じたら早めに避難しましょう。



●雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。長雨や大雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

●逃げ方を覚えましょう

土石流は速度は早いので、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

●避難場所を決めておきましょう

日ごろから家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。災害が起きた時、家族全員が一緒にいるとは限りません。そんな時でもあらかじめ避難場所を決めておけば安心です。

市内の避難場所については、次のページに掲載しています。

災害に備えて防災パトロール・合同災害警備訓練を実施

防災パトロール

5月28日(水)午前9時から、市内の災害危険地域の防災パトロールが行われました。パトロールには、市役所・県東部振興局・国東土木事務所・消防団・自衛隊・国東警察署・市消防本部などから関係者約40人が参加。土砂崩れや土石流、堤防決壊などの恐れがある溜池など5カ所の現地調査を行いました。

調査後行われた判定会議で、串ヶ迫川(国見町小熊本)、見地川(国東町見地)、諸田川(安岐町明治)を新たに災害危険予想地域(土砂崩壊)に指定し、今後の対応策について話し合いをしました。



▲各危険箇所では、市や県の職員による現状が説明されました

警察・消防が合同災害警備訓練

6月5日(木)、国東町浜崎で、警察・消防との連携強化と救助技術の向上を目的とした、警察・消防合同災害警備訓練が行われました。

訓練には、国東警察署、国東市消防本部から34名が参加。周防灘を震源とする震度6強の地震が発生したとの想定で実施されました。

津波や土砂崩れで倒壊した家屋や車から被災者を救出する救出救助訓練等が行われ、災害発生時の警察・消防の連携を確認しました。

なお、旭日小学校の3年生19人が訓練の説明を受けた後、パトカーや消防車を見学しました。



▲専用の器具を使って、車に閉じ込められた被災者を救出する救出救助訓練

携帯電話版ホームページ

<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ

<http://www.kyuden.co.jp>



2次元コード

携帯メールサービス

台風による停電時には、ご登録いただいた携帯電話に停電情報をメール配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。



ずっと先まで、明るくしたい。

●災害が起きたら
もし、切れた電線を見たら？
切れた電線を見つけたら、危険ですので絶対に触らずにお近くの九州電力へご連絡ください。

なお、強風で飛ばされるおそれがあるものは、あらかじめしっかりと固定しましょう。

- 乾電池
- 携帯ラジオ
- 飲料水
- 懐中電灯
- 携帯電話の充電器(電池式)
- ため水(生活用水)

●停電に備えてご準備ください。

停電時に必要なもの(例)
※台風等非常災害以外の突発的な停電に際しましては、停電情報はご確認いただけません。
台風による停電時には、電話がつながりにくくなる場合があります。停電情報は左記のホームページでもご確認いただけます。

●台風による停電時の際は

九州電力からのお知らせ